

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成22年8月13日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期
(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

【会社名】 東洋テック株式会社

【英訳名】 TOYO TEC CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 新井信彦

【本店の所在の場所】 大阪市浪速区桜川一丁目7番18号

【電話番号】 (06) 6563-2111 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 仁田吉彦

【最寄りの連絡場所】 大阪市浪速区桜川一丁目7番18号

【電話番号】 (06) 6563-2111 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 仁田吉彦

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

東洋テック株式会社東京支社
(東京都文京区小日向四丁目2番8号)

東洋テック株式会社名古屋支社
(名古屋市中村区名駅三丁目23番13号)

東洋テック株式会社神戸支社
(神戸市中央区磯上通四丁目3番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第46期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第47期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第46期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高 (千円)	4,299,099	4,182,549	17,345,581
経常利益 (千円)	247,175	228,055	869,096
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	5,504	77,120	514,139
純資産額 (千円)	16,510,021	16,701,086	16,799,899
総資産額 (千円)	19,640,256	20,046,867	20,372,250
1株当たり純資産額 (円)	1,572.37	1,590.61	1,600.02
1株当たり四半期 (当期)純利益又は四半 期純損失金額() (円)	0.52	7.34	48.96
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	84.1	83.3	82.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	229,211	439,814	1,998,980
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	107,064	198,200	1,416,107
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	245,025	104,997	58,746
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,077,764	5,647,257	5,510,640
従業員数 (名)	1,298	1,339	1,303

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成22年6月30日現在

従業員数(名)	1,339(444)
---------	------------

(注)1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第1四半期連結会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

3 臨時従業員は、パートタイマーであり、派遣社員を除いています。

(2) 提出会社の状況

平成22年6月30日現在

従業員数(名)	1,038(21)
---------	-----------

(注)1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第1四半期会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

3 臨時従業員は、パートタイマーであり、派遣社員を除いています。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当社グループ（当社及び連結子会社）は生産活動を行っておりませんが、当第1四半期連結会計期間末日現在実施中のセグメント契約件数は、次のとおりであります。

セグメントの名称	契約件数（件）
警備事業	44,348
ビル管理事業	3,529
合計	47,877

(2) 販売実績

当第1四半期連結会計期間におけるセグメントごとの販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額（千円）
警備事業	3,327,775
ビル管理事業	854,773
合計	4,182,549

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間の売上高は、4,182百万円となり、前年同四半期に比べ116百万円、2.7%の減収となりました。

警備事業につきましては、新たに受注した金融機関向けの受託管理業務もあり、ホームセキュリティも堅調に推移しましたが、輸送警備、施設警備は解約や値下げの影響を受け、また、機器等の販売も低調に推移しました。

この結果、警備事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は3,327百万円となり、セグメント利益は167百万円となりました。

ビル管理事業につきましては、新規ビル管理業務の受注等もありましたが、大口の解約等も発生したことなどから当第1四半期連結会計期間の売上高は854百万円となり、セグメント利益は2百万円となりました。

営業利益は、各種経費の削減等を引続き実施してまいりましたが174百万円、前年同四半期比25百万円、12.6%の減益となりました。経常利益は228百万円、前年同四半期比19百万円、7.7%の減益となりました。四半期純利益は、77百万円、前年同四半期比82百万円の増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は20,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円の減少となりました。

純資産は16,701百万円となり、前連結会計年度末比98百万円減少しました。自己資本比率は83.3%となり、前連結会計年度末比0.8ポイント上昇しました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、439百万円の資金増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が185百万円になったほか、減価償却費186百万円及び受託管理業務に係る受託現預金、受託立替金が300百万円減少したこと等によるものであります。

前第1四半期連結会計期間に比べ資金収入は210百万円増加しました。その主な要因は、受託管理業務に係る受託現預金及び受託立替金が前第1四半期連結会計期間ではほぼ増減がありませんでしたが、当第1四半期連結会計期間では300百万円減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、198百万円の資金減少となりました。これは有形・無形の固定資産取得128百万円や投資有価証券の取得63百万円の資金支出があったこと等によるものです。

前第1四半期連結会計期間は107百万円の資金収入でありましたので、前年同四半期に比べると305百万円資金支出が増加しました。この主な要因は、前第1四半期連結会計期間において投資有価証券の売却による収入が393百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いにより104百万円の資金支出となりました。

前第1四半期連結会計期間に比べ資金支出は140百万円減少しましたが、この要因は前第1四半期連結会計期間において短期借入金の返済が140百万円あったことによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し、5,647百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

なお、当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針は定めておりません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、安全・安心に対する防犯意識の高まりを受け、企業や個人宅での警備に対するニーズや関心は高いものがあるものの、一方で取引先からは警備品質の向上やコスト削減への要請等が依然として厳しく、同業他社との競合激化、警備品質確保のためのコストアップ要因等を抱え、引き続き厳しい状況が続いております。

当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえて、営業提案力と業務遂行能力の強化を図りつつ、今後も売上高の増加と利益水準の向上に努めてまいります。

(7) 経営者の問題認識と今後の方針について

営業力強化、警備力の向上及び内部統制システムの強化と組織の活性化を図り、平成20年4月からスタートした第八次中期経営計画目標の実現を目指してまいります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,800,000
計	20,800,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成22年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,440,000	11,440,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 100株であります。
計	11,440,000	11,440,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年4月1日～ 平成22年6月30日		11,440,000		4,618,000		8,310,580

(6) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、大株主の異動はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成22年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 940,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,492,900	104,929	
単元未満株式	普通株式 6,900		
発行済株式総数	11,440,000		
総株主の議決権		104,929	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には当社所有の自己株式41株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東洋テック株式会社	大阪市浪速区桜川一丁目 7番18号	940,200		940,200	8.22
計		940,200		940,200	8.22

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 4月	5月	6月
最高(円)	888	869	888
最低(円)	850	820	826

(注) 株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。
 役職の異動

氏名	新役名及び職名	旧役名及び職名	異動年月日
高橋 勝	取締役専務執行役員 営業本部長兼ホームセ キュリティ営業部長	取締役専務執行役員 営業本部長兼営業推進 部長兼ソリューション 営業開発部長兼ソ リューション営業開発 部ソリューション第三 グループ長	平成22年7月1日
	取締役専務執行役員 営業本部長	取締役専務執行役員 営業本部長兼ホームセ キュリティ営業部長	平成22年8月2日

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,548,957	4,559,196
受託現預金	1 2,874,659	1 3,170,148
受取手形及び売掛金	1,280,118	1,276,679
有価証券	1,929,398	1,776,112
商品	1,915	2,592
貯蔵品	350,249	334,828
立替金	29,420	18,966
繰延税金資産	244,785	329,553
その他	152,036	115,183
貸倒引当金	3,870	3,535
流動資産合計	11,407,671	11,579,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	615,618	624,714
機械装置及び運搬具(純額)	2,126,186	2,189,882
土地	1,863,110	1,863,110
建設仮勘定	14,611	12,722
その他(純額)	95,568	102,317
有形固定資産合計	2 4,715,095	2 4,792,747
無形固定資産		
のれん	278,438	286,394
その他	287,911	304,831
無形固定資産合計	566,350	591,225
投資その他の資産		
投資有価証券	2,970,600	3,012,501
繰延税金資産	43,224	36,700
その他	368,367	391,180
貸倒引当金	24,442	31,831
投資その他の資産合計	3,357,749	3,408,550
固定資産合計	8,639,195	8,792,523
資産合計	20,046,867	20,372,250

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,593	227,494
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	32,073	120,828
預り金	332,650	232,452
賞与引当金	181,569	360,038
役員賞与引当金	9,800	35,970
その他	1,157,551	1,119,387
流動負債合計	1,992,237	2,196,171
固定負債		
社債	400,000	400,000
繰延税金負債	543,298	561,987
退職給付引当金	148,458	147,905
その他	261,787	266,287
固定負債合計	1,353,543	1,376,179
負債合計	3,345,781	3,572,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,310,580	8,310,580
利益剰余金	6,830,465	6,858,343
自己株式	580,910	580,910
株主資本合計	19,178,135	19,206,012
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	271,137	342,073
土地再評価差額金	2,748,186	2,748,186
評価・換算差額等合計	2,477,049	2,406,113
純資産合計	16,701,086	16,799,899
負債純資産合計	20,046,867	20,372,250

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,299,099	4,182,549
売上原価	3,266,447	3,166,158
売上総利益	1,032,651	1,016,390
販売費及び一般管理費	₁ 832,917	₁ 841,857
営業利益	199,733	174,533
営業外収益		
受取利息	3,962	3,460
受取配当金	29,416	36,517
違約金収入	14,225	9,233
その他	5,024	8,792
営業外収益合計	52,628	58,002
営業外費用		
支払利息	805	1,098
事務所移転費用	2,095	-
保険免責額	1,927	717
リース解約損	-	1,611
その他	358	1,052
営業外費用合計	5,187	4,480
経常利益	247,175	228,055
特別利益		
投資有価証券売却益	-	17
貸倒引当金戻入額	-	6,245
特別利益合計	-	6,262
特別損失		
投資有価証券評価損	130,631	-
固定資産除却損	19,858	12,999
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	35,755
その他	3,033	-
特別損失合計	153,524	48,754
税金等調整前四半期純利益	93,651	185,562
法人税、住民税及び事業税	10,106	15,046
法人税等調整額	89,049	93,396
法人税等合計	99,155	108,442
少数株主損益調整前四半期純利益	-	77,120
四半期純利益又は四半期純損失()	5,504	77,120

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	93,651	185,562
減価償却費	194,497	186,778
のれん償却額	7,955	7,955
固定資産除却損	19,858	12,999
貸倒引当金の増減額(は減少)	671	7,054
退職給付引当金の増減額(は減少)/前払年金費用の増減額(は増加)	4,595	6,376
賞与引当金の増減額(は減少)	179,206	178,469
役員賞与引当金の増減額(は減少)	19,620	26,170
受取利息及び受取配当金	33,378	39,977
支払利息	805	1,098
投資有価証券売却損益(は益)	-	17
投資有価証券評価損益(は益)	130,631	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	35,755
売上債権の増減額(は増加)	78,569	3,438
たな卸資産の増減額(は増加)	1,266	14,743
その他の資産の増減額(は増加)	48,241	37,764
仕入債務の増減額(は減少)	89,719	48,901
受託現預金の増減額(は増加)	² 1,768	² 299,294
受託立替金の増減額(は増加)	² 1,778	² 706
その他	48,665	116,349
小計	210,991	483,586
利息及び配当金の受取額	32,786	39,016
利息の支払額	197	720
法人税等の支払額	50,579	82,067
法人税等の還付額	36,209	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,211	439,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	82,184	-
有形固定資産の取得による支出	147,989	111,569
無形固定資産の取得による支出	75,684	16,945
投資有価証券の取得による支出	145,581	63,409
投資有価証券の売却による収入	393,805	69
保険積立金の払戻による収入	-	9,285
その他	328	15,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	107,064	198,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	140,000	-
自己株式の取得による支出	24	-
配当金の支払額	105,000	104,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	245,025	104,997
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	91,250	136,616
現金及び現金同等物の期首残高	4,986,514	5,510,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 5,077,764	¹ 5,647,257

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日至平成22年6月30日)
(会計処理基準に関する事項の変更) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これにより営業利益、経常利益は291千円減少し、税金等調整前四半期純利益は36,047千円減少しております。

【表示方法の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日至平成22年6月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)
一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため注記を省略しております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1 受託管理業務において、金融機関等から管理を委託されたCD/ATM機に使用するための現金及び預金であります。	1 同左
2 有形固定資産の減価償却累計額及び減損損失累計額 9,171,118千円	2 有形固定資産の減価償却累計額及び減損損失累計額 9,116,227千円

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 従業員給与及び賞与 389,409千円 法定福利費 58,614 賞与引当金繰入額 61,322 役員賞与引当金繰入額 8,800 退職給付費用 34,370 減価償却費 16,008 貸倒引当金繰入額 1,651 のれん償却額 7,955	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 従業員給与及び賞与 392,582千円 法定福利費 61,591 賞与引当金繰入額 60,392 役員賞与引当金繰入額 9,800 退職給付費用 26,748 減価償却費 14,660 のれん償却額 7,955

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)																																																																						
<p>1 現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高と当第1四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">3,931,297千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td style="text-align: right;">1,473,709</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,405,006</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td style="text-align: right;">322,383</td> </tr> <tr> <td>その他預け金</td> <td style="text-align: right;">4,858</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,077,764</td> </tr> </table>	現金及び預金	3,931,297千円	有価証券	1,473,709	計	5,405,006	預入期間が3か月超の定期預金	322,383	その他預け金	4,858	現金及び現金同等物	5,077,764	<p>1 現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高と当第1四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">4,548,957千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td style="text-align: right;">1,929,398</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,478,356</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td style="text-align: right;">522,413</td> </tr> <tr> <td>その他預け金</td> <td style="text-align: right;">8,072</td> </tr> <tr> <td>償還期限が3ヶ月超の有価証券</td> <td style="text-align: right;">300,612</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,647,257</td> </tr> </table>	現金及び預金	4,548,957千円	有価証券	1,929,398	計	6,478,356	預入期間が3か月超の定期預金	522,413	その他預け金	8,072	償還期限が3ヶ月超の有価証券	300,612	現金及び現金同等物	5,647,257																																												
現金及び預金	3,931,297千円																																																																						
有価証券	1,473,709																																																																						
計	5,405,006																																																																						
預入期間が3か月超の定期預金	322,383																																																																						
その他預け金	4,858																																																																						
現金及び現金同等物	5,077,764																																																																						
現金及び預金	4,548,957千円																																																																						
有価証券	1,929,398																																																																						
計	6,478,356																																																																						
預入期間が3か月超の定期預金	522,413																																																																						
その他預け金	8,072																																																																						
償還期限が3ヶ月超の有価証券	300,612																																																																						
現金及び現金同等物	5,647,257																																																																						
<p>2 受託管理業務に関わる受託現預金、立替金、預り金の「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」への表示方法</p> <p>(1) 受託現預金 CD / ATM機への装填現金及び装填用預金であり、当社資金の増減を営業活動によるキャッシュ・フローとして表示、他社資金(受託管理業務の受託先からの受入資金)は、「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」から除外しております。</p> <p>(2) 立替金 当社資金による立替金の増減を営業活動によるキャッシュ・フローとして表示、他社資金による立替金は「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」から除外しております。</p> <p>(3) 預り金 受託先からの預り金は、受託現預金(他社資金)、立替金(他社資金)と相殺し、「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」から除外しております。</p> <p>(4) 受託管理業務に係わるキャッシュ・フローについて</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">平成21年 3月31日 (千円)</th> <th style="width: 10%;">平成21年 6月30日 (千円)</th> <th style="width: 10%;">当社資金 (千円)</th> <th style="width: 10%;">他社資金 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託現預金 (当社資金)</td> <td style="text-align: right;">3,280,303</td> <td style="text-align: right;">3,278,535</td> <td style="text-align: right;">1,768</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受託現預金 (他社資金)</td> <td style="text-align: right;">224,188</td> <td style="text-align: right;">202,578</td> <td></td> <td style="text-align: right;">21,609</td> </tr> <tr> <td>立替金 (当社資金)</td> <td style="text-align: right;">19,687</td> <td style="text-align: right;">21,465</td> <td style="text-align: right;">1,778</td> <td></td> </tr> <tr> <td>立替金 (他社資金)</td> <td style="text-align: right;">890</td> <td style="text-align: right;">1,650</td> <td></td> <td style="text-align: right;">760</td> </tr> <tr> <td>預り金 (他社資金)</td> <td style="text-align: right;">225,078</td> <td style="text-align: right;">204,228</td> <td></td> <td style="text-align: right;">20,849</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">営業活動によるキャッシュ・フロー</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成21年 3月31日 (千円)	平成21年 6月30日 (千円)	当社資金 (千円)	他社資金 (千円)	受託現預金 (当社資金)	3,280,303	3,278,535	1,768		受託現預金 (他社資金)	224,188	202,578		21,609	立替金 (当社資金)	19,687	21,465	1,778		立替金 (他社資金)	890	1,650		760	預り金 (他社資金)	225,078	204,228		20,849	営業活動によるキャッシュ・フロー			10		<p>2 受託管理業務に関わる受託現預金、立替金、預り金の「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」への表示方法</p> <p>(1) 受託現預金 同左</p> <p>(2) 立替金 同左</p> <p>(3) 預り金 同左</p> <p>(4) 受託管理業務に係わるキャッシュ・フローについて</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">平成22年 3月31日 (千円)</th> <th style="width: 10%;">平成22年 6月30日 (千円)</th> <th style="width: 10%;">当社資金 (千円)</th> <th style="width: 10%;">他社資金 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託現預金 (当社資金)</td> <td style="text-align: right;">2,992,234</td> <td style="text-align: right;">2,692,940</td> <td style="text-align: right;">299,294</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受託現預金 (他社資金)</td> <td style="text-align: right;">177,914</td> <td style="text-align: right;">181,719</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,805</td> </tr> <tr> <td>立替金 (当社資金)</td> <td style="text-align: right;">7,766</td> <td style="text-align: right;">7,060</td> <td style="text-align: right;">706</td> <td></td> </tr> <tr> <td>立替金 (他社資金)</td> <td style="text-align: right;">11,200</td> <td style="text-align: right;">22,360</td> <td></td> <td style="text-align: right;">11,160</td> </tr> <tr> <td>預り金 (他社資金)</td> <td style="text-align: right;">189,114</td> <td style="text-align: right;">204,079</td> <td></td> <td style="text-align: right;">14,965</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">営業活動によるキャッシュ・フロー</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">300,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成22年 3月31日 (千円)	平成22年 6月30日 (千円)	当社資金 (千円)	他社資金 (千円)	受託現預金 (当社資金)	2,992,234	2,692,940	299,294		受託現預金 (他社資金)	177,914	181,719		3,805	立替金 (当社資金)	7,766	7,060	706		立替金 (他社資金)	11,200	22,360		11,160	預り金 (他社資金)	189,114	204,079		14,965	営業活動によるキャッシュ・フロー			300,000	
	平成21年 3月31日 (千円)	平成21年 6月30日 (千円)	当社資金 (千円)	他社資金 (千円)																																																																			
受託現預金 (当社資金)	3,280,303	3,278,535	1,768																																																																				
受託現預金 (他社資金)	224,188	202,578		21,609																																																																			
立替金 (当社資金)	19,687	21,465	1,778																																																																				
立替金 (他社資金)	890	1,650		760																																																																			
預り金 (他社資金)	225,078	204,228		20,849																																																																			
営業活動によるキャッシュ・フロー			10																																																																				
	平成22年 3月31日 (千円)	平成22年 6月30日 (千円)	当社資金 (千円)	他社資金 (千円)																																																																			
受託現預金 (当社資金)	2,992,234	2,692,940	299,294																																																																				
受託現預金 (他社資金)	177,914	181,719		3,805																																																																			
立替金 (当社資金)	7,766	7,060	706																																																																				
立替金 (他社資金)	11,200	22,360		11,160																																																																			
預り金 (他社資金)	189,114	204,079		14,965																																																																			
営業活動によるキャッシュ・フロー			300,000																																																																				

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	11,440,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	940,241

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	104,997	10.00	平成22年3月31日	平成22年6月24日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	警備事業 (千円)	ビル管理事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,215,773	1,083,326	4,299,099		4,299,099
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,182	4,513	16,696	(16,696)	
計	3,227,955	1,087,840	4,315,795	(16,696)	4,299,099
営業利益	143,421	51,845	195,266	4,466	199,733

(注) 1 事業区分は、業務の内容によって区分しております。

2 各事業の主な業務

- (1) 警備事業.....機械警備、輸送警備、施設警備、受託管理及び警備事業に附帯する工事等
- (2) ビル管理事業.....ビル総合管理

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び当社の連結子会社が各々独立した経営単位であり、各社は取扱う製品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は警備事業を主とした会社であり、連結子会社においても警備事業又はビル管理事業にそれぞれ特化していることから、「警備事業」と「ビル管理事業」の2つを報告セグメントとしております。

「警備事業」は、機械警備、輸送警備、施設警備、受託管理及び警備事業に附帯する工事等の他、防犯機器等の販売やコールセンター業務等を行っております。

「ビル管理事業」は、メンテナンス業務等ビルの総合管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	警備事業	ビル管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,327,775	854,773	4,182,549		4,182,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,699	55,730	67,430	67,430	
計	3,339,475	910,504	4,249,979	67,430	4,182,549
セグメント利益	167,976	2,242	170,219	4,313	174,533

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がないため記載しておりません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がないため記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(賃貸等不動産関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1,590円61銭	1,600円02銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
純資産の部の合計額	16,701,086千円	16,799,899千円
普通株式に係る純資産額	16,701,086千円	16,799,899千円
普通株式の発行済株式数	11,440,000株	11,440,000株
普通株式の自己株式数	940,241株	940,241株
1株当たり純資産額の算定に 用いられた普通株式数	10,499,759株	10,499,759株

2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額() 0円52銭	1株当たり四半期純利益金額 7円34銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額、又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期 純損失()	5,504千円	77,120千円
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()	5,504千円	77,120千円
普通株主に帰属しない金額		
普通株式の期中平均株式数	10,500,028株	10,499,759株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

リース取引開始日がリース取引に関する会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っておりますが、当第1四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 8月10日

東洋テック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 黒 訓

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 宅 昇

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東洋テック株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東洋テック株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 8月11日

東洋テック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 黒 訓

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 宅 昇

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東洋テック株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東洋テック株式会社及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。